在宅勤務での状況報告を自動化しよう

フロー導入手順書

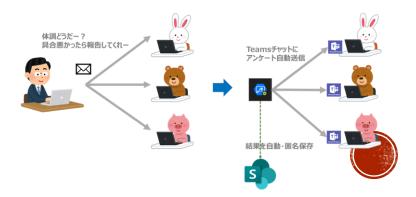


Hiro @mofumofu_dance

体調状況報告フローについて

■ COVID19の影響等により、在宅勤務をしなければいけない状況、または遠隔地に チームメンバーがいる場合に、管理者としてメンバーの体調や課題・悩みを把握する 必要があるかと思います。

- このフローではそのような環境下にある場合に、管理者としても、メンバーとしても簡単に体調や在宅勤務に関するサーベイをできる仕組みを提供します。
- そもそも在宅で新しいツール・サービスを利用しなければいけなくなった方にも優しいように、あまりたくさんのツールを使わず、利用者はMicrosoft Teamsおよび、管理者むけのSharePointサイトに接点を限定するようにしています。 在実動数での状況報告を自動化しょう!

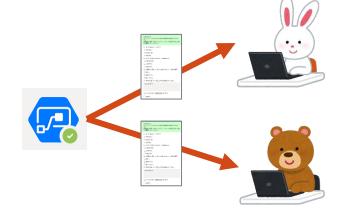




① まず送信する相手をリストします



② Flow botからTeamsチャットでアンケートフォームが送られます



③ 回答結果は自動的にSharePoint リストに保存されます

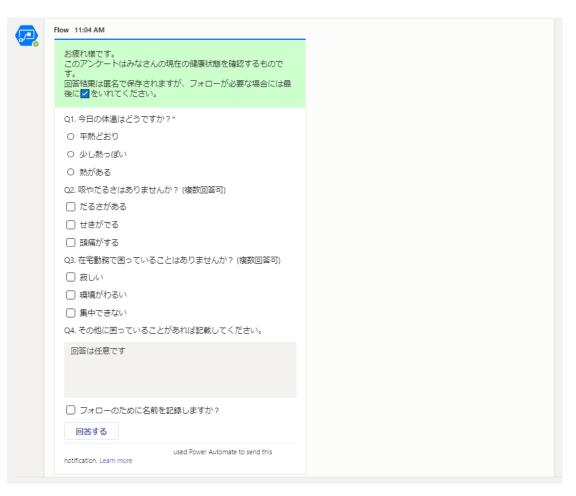


4 回答結果がそろうと、チームリーダー/管理者向けに 完了メッセージが届きます あとはリストを確認するだけ



体調状況報告フローについて

- メンバーが操作するのはTeamsのチャットに送られてきた "Adaptive Card"だけです。
- ■回答は自動的に、かつ基本的には匿名でSharePointリストに保存されます。



※質問の内容を変えたい場合には、SharePointリストと Adaptive Cardを変更する必要があります。

Adaptive Cardの設定部分はウェビナーで解説予定です。

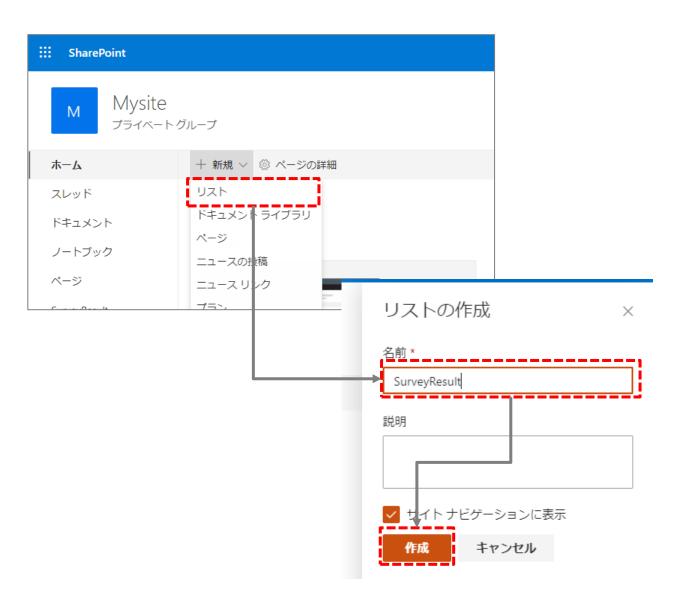
以降では配布したフロー (Power Automate) および データ 格納先であるSharePointリストの設定を説明します。





1. SharePoint リスト作成

1. SharePoint リスト作成



- フロー作成者が管理する適当な SharePointサイトで、新規リストを 作成します。
- ※名前に指定はありません



1. SharePoint リスト作成 - 列設定





- 作成したリストを表示し、列を追加します。
 - 列の種類は [選択肢]
 - 名前は [体温]
 - 選択肢には以下を記入します。* normal feverish fever
 - 入力完了後、「保存」 クリックします。

※項目はそれぞれ

normal : 平熱

feverish : 熱っぽい

fever : 発熱あり

と対応しています。

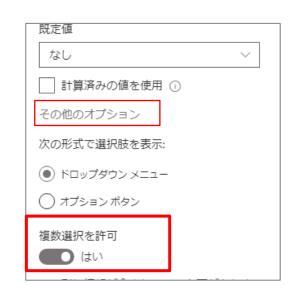


1. SharePoint リスト作成 - 列設定

- 同様にして、以下の内容で [選択肢] 列を追加します。 いずれも、[複数選択を許可] を有効にしてください。
 - ※[複数選択を許可]のオプションは、[その他のオプション]から表示します

列名	選択肢	説明 (任意)
体調	sluggish cough headache	Sluggish: だるさ Cough: 咳 Headache:頭痛
在宅勤務	lonely environment focus	lonely: 寂しい・孤独 environment:環境が悪い focus:集中できない

最後に [複数行テキスト] 列を追加します。列名は [その他悩み事]です。(この列には自由入力でメンバーの悩み事を書いてもらいます)



列の作成 ×
列の作成についての詳細を確認してくださ い。
名前*
その他悩み事
説明
種類
複数行テキスト
既定值
既定値の入力
計算済みの値を使用 ①
その他のオプション



1. SharePoint リスト作成 - 完成イメージ

•以上で、メンバーの報告を記録するリスト (データ置き場) が完成しました。



- テストとしてSharePointの画面からデータを登録してみてください。その際、以下の内容を確認します。
 - 列名は正しいか
 - 列の選択肢は正しいか (今回はすべて小文字)
 - 体調・在宅勤務は、複数選択できるか



1. SharePoint リスト作成 - 完成イメージ

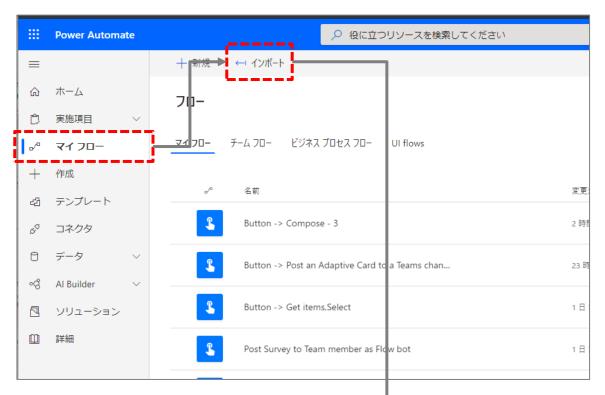
■フォームとリストの対応は下図のとおりです。





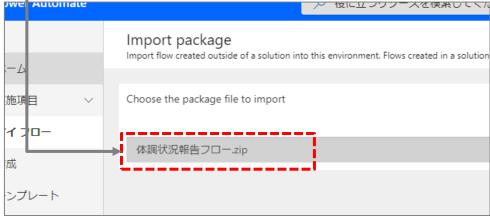


2. フローのインポート (Power Automate)



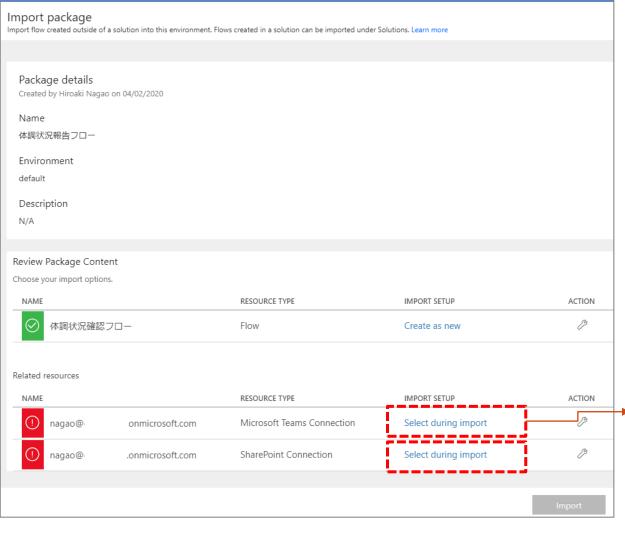
メンバーに状況報告フォームを送信するための フローをインポートします。

- Power Automateを開き、[マイフロー] から、 画面上部の [インポート] を選択します。
- インポートするパッケージの選択画面では、配布したzipファイルを指定します。

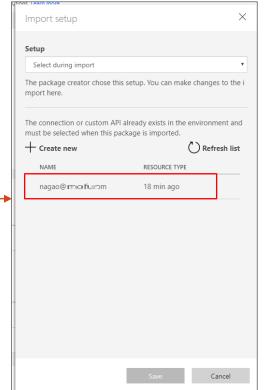




2. フローのインポート設定 (Power Automate)



- インポートの途中で各種リソース (コネクション) の設定を聞かれます。
- ここでは Microsoft Teams と SharePoint のコネクションを修正します。

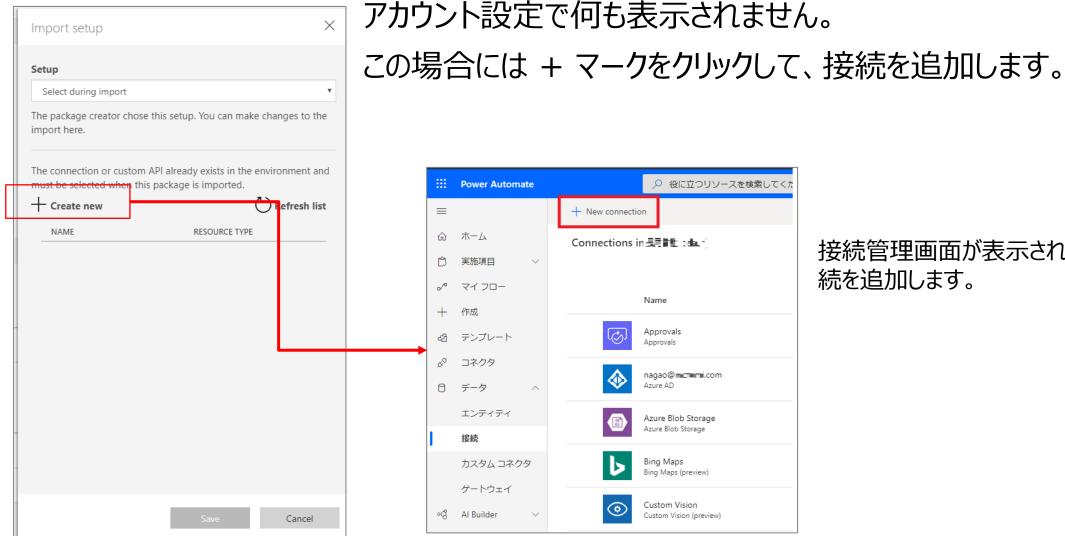


赤点線のボタンをクリックし、 表示されたタブでご自身 のアカウントを選択します。



2. インポート補足

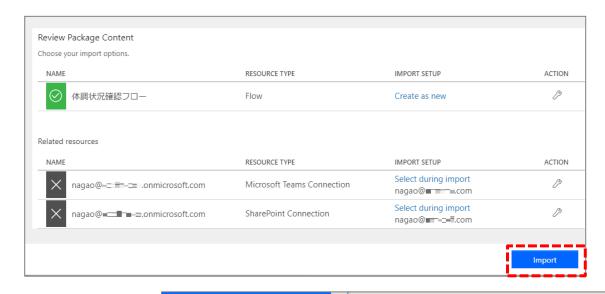
■ 初めてPower PlatformでTeamsやSharePointへ接続する場合には、インポート中の



接続管理画面が表示されるので、新しい接 続を追加します。

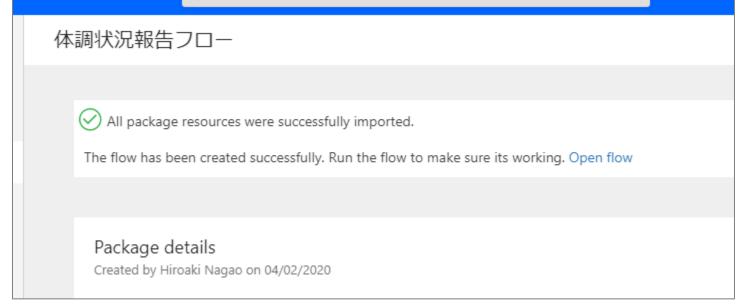


2. フローのインポート設定 (Power Automate)



アカウントの指定が完了すると左図のように、 インポートボタンが青く活性化されます。

インポートをして、下図のように成功メッセージ が表示されれば (ひとまず) 完了です。







() 3. フローの設定と修正

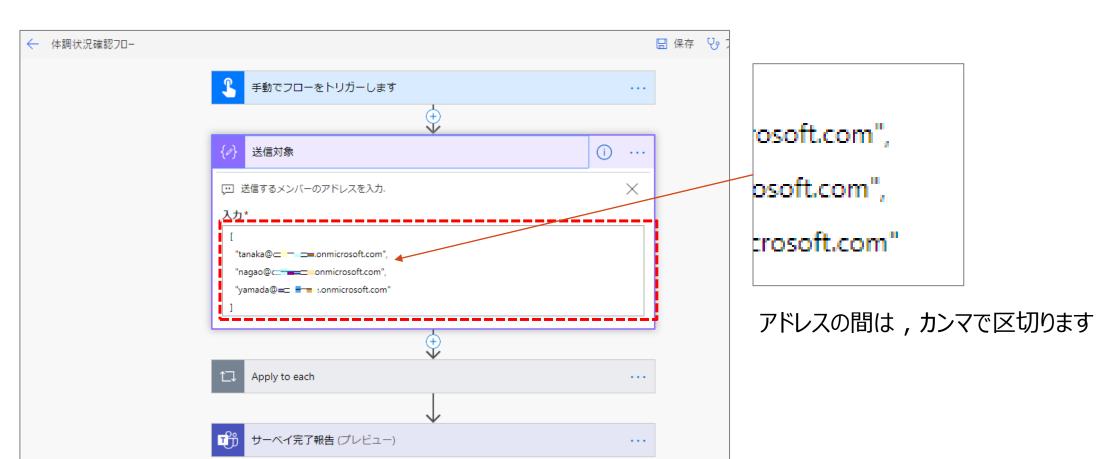
3. フローの修正・設定 (Power Automate)

- インポートした直後は、まだ皆さんの環境に合わせた設定になっていません。
- ここでは以下の内容について、インポートしたフローを修正していきます。
 - 1. メッセージ送信対象の変更 (メールアドレス)
 - 2. SharePointのサイト・リストの選びなおし
 - 3. 完了メッセージの送信先変更 (フロー作成者のメールアドレス)



3-1. メッセージ送信対象変更

- ●今回のフローではメッセージ送信対象をフロー内で定義しています。
- フロー内の [送信対象] アクションを開き、送信対象のメールアドレスを記入します。
- メールアドレスは " ダブルクォーテーションで囲むことを忘れないでください。





3-2. SharePoint サイト・リスト選択

■ [Apply to each] をクリックすると反復実行するサブプロセスが表示されます。



- 回答結果を登録するSharePoint のアクションでエラーが表示されます。
- サイトアドレスとリスト名をどちらも一度消してから、1.で 作成したサイトアドレス、リスト名に変更します。
- 正しく修正されると、各列に設定がマッピングされます。

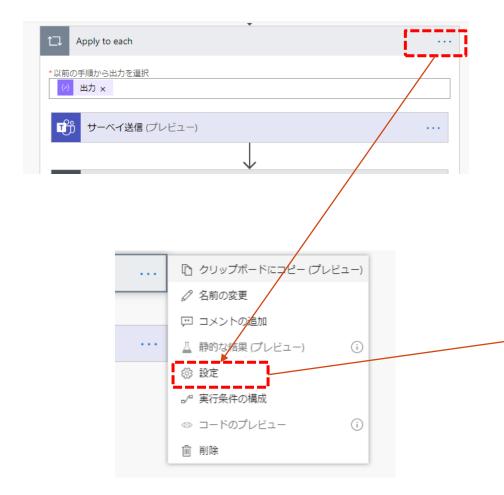






3-3. Apply to each設定確認

■ [Apply to each] アクションの [・・・] をクリックし、[設定]を選択します。



設定内のコンカレンシー制御がオンになっていて、並列処理の次数が50であることを確認してください。

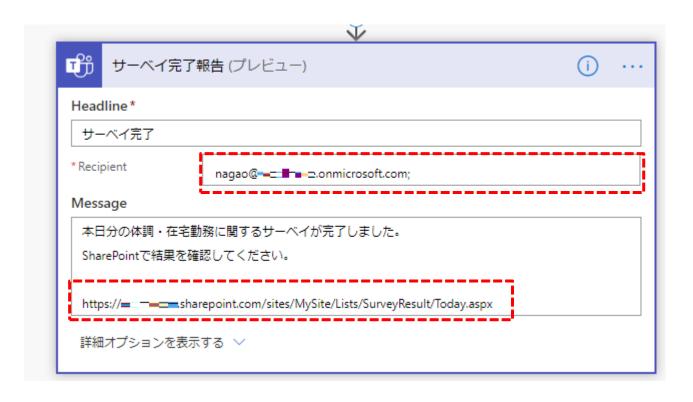
この設定によりフォームが複数人に同時送信されます。





3-4. 完了メッセージ送信対象変更

- フローの最後、すべてのメンバーが回答を終えると、サーベイの完了報告が送られます。
- この送信先と、メッセージ内のリストURLを変更・指定してください。 (基本的にはフローの所有者またはサイトの閲覧ができる人)







以上で設定は完了です。 ボタントリガーになっているので、さっそくフローを実行してテストしてみてください。

実際に毎日動かす場合にはトリガーを一度削除し、スケジュール実行に変更してください。